

「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに

社協だより 土佐 第83号

発行
土佐市社会福祉協議会
(高知県土佐市)
2023年 夏号



【子ども食堂】ムックン食堂 第3土曜日つな一にて開催中！

目次

- 1・・・生活支援コーディネーター通信！
- 2・・・あったか通信！
- 3・・・【特集】地域支援に関する協定を結びました
対談：土佐市社会福祉協議会 × 高知リハビリテーション専門職大学
- 5・・・井口農園さんのとりくみ / 災害ボランティア基礎研修実施報告
第3期土佐市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定について
- 6・・・令和4年度実績報告 / 日本赤十字社について

ムックン
(土佐市社協公式マスコット)





誰もが住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるように、関係機関や行政、企業、そして地域の皆さんが協力しあって行うまちづくりを目指して「生活支援体制整備事業」がスタートしました。

その事業の中で、関係している皆さんをつなげて活動しやすくサポートするのが「生活支援コーディネーター」です。

新居を花いっぱいにする会



一年中花を咲かせて、地域住民にいつも明るい心を持ってもらい心豊かな地区にしよう！と、新居地区の若い後継者の方や婦人の方約10名で昭和63年7月に結成されました。

結成当初は花が1週間も経たないうちに引き抜かれたこともありましたが、しかし現在は、メンバー15人と地域の小学校や保育園の子どもたちと共に、通学・通学路・平石川沿いの約250メートルを花壇にして色鮮やかな花が植えられています。

「草引きをしながら井戸端会議をするなど地域住民の交流の場となり、会話をすることで元気になる」と会長の松岡善郎さんは話されていました。川が綺麗になり地域住民の癒しの場をと、地域全体で活動されています。

ひょうたんファーム ー土佐市蓮池小森 3238 番ー



80号掲載の「いわおガーデン」より引き継がれたものも活躍中!



新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう中、地域の皆さんに喜んでもらおうと3年前より自分の畑を「ひょうたんファーム」と名付けお花を植え始めました。以前は杉の木があり暗くてゴミの投棄問題などもありましたが、現在は木も整備され、綺麗な花や野菜が植えられたことで畑周辺が明るくなり、当初の地域課題も解決しました。

ファーム前の道は地域の皆さんの散歩コースになっており、作業中に声を掛け合うなど地域交流の場が生まれています。

地域の方へのメッセージ

地域の人と交流し、お花を楽しんで癒しの場になれば良いと思います。お気軽にお越しください。

手品堂ジュン & アケミ (細木 潤二・明美)



生活支援コーディネーターは、みなさんの「こんなことやりたい!」「こんなあったらいいな!」を応援します!みなさんのお声をお聞かせください。

私たち生活支援コーディネーターと『楽しい地域』を目指して一緒に考えてみませんか?

【問い合わせ先】土佐市社協 地域福祉課 上野・湯上・中脇 (852-2145)

子どもから高齢者まで、年齢や障害の有無にかかわらず誰もが気軽に集い、必要なサービスをうけることができる地域福祉の拠点として、支え合いの仕組みづくりや提供を行っています。(介護保険サービスではありません。)

開所日時 月曜日～金曜日(祝日除く)

9時00分～16時00分

場 所 土佐市高岡町甲1771(旧土佐市老人憩いの家)

電話番号 ☎ 088-881-5472 ☎ 090-7783-7814

利用料無料!

(飲食代や創作活動にかかる材料費等は自己負担となります)

つどい

年齢や障害の有無にかかわらず気軽に誰でも集える居場所。

訪問

独居高齢者や障害のある方への見守り訪問を行います。

生活支援

普段の生活のなかでの困りごとなどのサポートを行います。

サテライト

船越サテライト『船越おしゃべり家』	毎月第2水曜日(祝日除く)	10:00～11:30	船越公園やすらぎの家
塚地サテライト『塚地みんなこいこい会』	毎月第3木曜日(祝日除く)	10:00～13:00	塚地集会所
蓮池サテライト	毎月第2・4月曜日(祝日除く)	10:00～13:00	蓮池コミュニティセンター

あったか高岡ではこんなことをやっています!

まなび茶屋

「学び」と「共食のススメ」を目的に、お薬や栄養、口腔についての講話など様々な学びを実施。学びの後はモーニング形式の昼食も!



講話・体操教室

多方面から講師を招き、いつまでも元気に生活できるよう、普段の生活でも取り入れられる「お話」や簡単な「体操教室」を開催。みんなで楽しく学んでいます。



調理の日

共食のススメとしてあったかボランティアさんの協力により、月1回「調理の日」を開催。利用者さんと一緒に春には「ちらし寿司」夏には「カレー」冬には「豚汁」を作り、みんなで一緒にいただきます。



土佐市には、あったかふれあいセンター高岡の他に2箇所のあったかふれあいセンターが開所しています。

運営団体は異なりますが、類似の活動やそれぞれの個性ある活動をおこなっていますので、是非一度ご参加してみてください。

宇佐 あったかふれあいセンターさくら貝 (088-856-0322)

戸波 あったかふれあいセンターとさ (088-855-1385)

地域支援に関する協定を結びました！



会長 徳永 浩三

土佐市社会福祉協議会

高知リハビリテーション専門職大学

学長 宮川 哲夫

協定書の内容

- ・地域の文化、産業、医療の振興に関すること
- ・教育及び人材に関すること
- ・街づくりに関すること
- ・現地学習に関すること

など

■土佐市社協と高知リハビリテーション専門職大学は、地域の発展と人材育成に寄与することを目的として、令和5年1月25日に地域協定を結びました。今後の双方の思いを対談で語っていただきました！

宮川 本学は理学療法士と作業療法士と言語聴覚士、いわゆるリハビリテーションの職種を輩出しています。理学療法ではスポーツサポートセンターというものがあり、4月にはスポーツの振興と研究のため高知県と提携を結びました。来年、大学内にスポーツサポートセンタークリニックを開設したいと考えて

います。作業療法ではジョブサポートセンター、言語聴覚ではコミュニケーションサポートセンターというものを作りました。理学療法のスポーツサポートセンターはスポーツだけでなく、高齢者の長寿のため、健康のための運動などもできますし、作業療法は色々な作業を通して心理面へのアプローチもできる。言語聴覚の方では誤嚥性肺炎の予防トレーニングや発達障害・聴覚障害のある方へのサポートもできますので、土佐市と組んで地域に根ざした教育をしたいですね。また、専門職大学の特徴の一つですが、「地域課題研究」という

授業を開講しています。去年は土佐市で災害が発生したらどんなサポートをするか、障害者の通りにくい道路について調べるなど色々な現地調査を行いました。それを踏まえて、私が今年絶対にしたいと思っていることは、土佐市と社会福祉協議会と組んで大々的な避難訓練をするということです。地域の方にも入って頂いて毎年やりたいですね。

徳永 うちの社協が非常に興味のあるところがたくさんあります。将来的には日本の人口も減少し、高齢者も増えてきて、団塊の世代もピークを迎えると思う。そうすると「フレイル※」

※フレイル： 虚弱や老衰といった意味を持つ。身体的・精神的・社会的に脆弱な状態になった時に引き起こされる様々なリスクを含んだ状態のこと。

という問題が大きく出てくるのではないかと思うんですね。そしたら大学の方々の手を借りて色々な運動をして、1年でも2年でも機能低下を先送りにして元気に過ごしていただきたい。私たち社協はその活動の橋渡しという形でぜひ協力できないかと思っています。

宮川 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の3職種で組んでフレイルの予防というものをしっかり出せばすごく良いものができると思います。

徳永 最近の高齢者を見ると、テレビがお友達という人もいます。対話をする、発話をする、頭や舌を使うということで、誤嚥性肺炎を防げるということもありますよね。

宮川 私の専門は呼吸器ですの



で、呼吸や嚥下についての健康教育もできます。

今年、土佐市の健康都市宣言の委員長をお引き受けしましたが、その際、高齢者の医療費の高さ、健康診断の受診率の低さ、小児の肥満度において土佐市は日本一のデータを持っているという現状を聞きました。健康教育は土佐市がしっかり取り組まなければいけないと感じました。

徳永 やりがいがあるとも言えますよね。ワースト1からベスト1に変わるかもしれない。

宮川 体力測定をして定期的に運動をして健康を維持していくなど、色々な切り口で取り組みますよね。教育、人材、街づくりにしても、地域課題研究などで地域へ入って、土佐市のここをこういう風に変えたらどうかということと一緒に考えていきたいですね。

徳永 社協でも今年にはコロナ禍で3年間実施できていなかったふれあい運動会を開催する予定です。福祉大会も実施に向けて企画しています。学生さんもコロナ禍で発表の場が限られていたと思うので、様々な機会を設けてあげたいですね。

宮川 学園祭も地域の方に入っ



て頂いて大々的にやりたいと考えています。去年は駐車場でお菓子まきをしたところ地域の方や子どもたちがたくさん来てくれました。

徳永 物事は広げていかないと先細りになってしまう。計画を大きくしてそれを達成するためにはどうしたらよいかを一所懸命に考えようというのが私の考え。現状に合わせるのではなく、現状を打破するように考えたい。社協としてももう少し飛び出して色々なことをやっていかなくてはと思っています。

宮川 これから色々計画を立ててそれに向かって協力させていただきたいです。

徳永 こちらこそぜひよろしく願います。

農業 × 福祉 井口農園さんのとりくみ

井口農園を営む井口 昇さんは土佐市のハウスでパプリカや甘長とうがらしを生産されています。

農業をするにあたり人手が無くて困っていた井口さん。作業所のようなところと一緒に仕事ができないかと考え土佐市社会福祉協議会へ相談したところ、作業活動をしている地元の障害者施設を見つけることができました。

井口さんから話をもちかけたところ、施設側も大歓迎。パックのシール貼りや収穫の手伝いをしてくれるようになりました。施設の方のまじめで丁寧な仕事ぶりに感謝をしつつ、これまで接点の無かった地元の障害者施設に対して関心が高まり、より密に連携していきたいと考えるようになったそうです。

せっかく雇うのだったら役に立てることがしたい。障害のある方に施設の生活だけでなく、お金をもらえるという経験や楽しさを知ってもらいたい。人として成長していく姿を見て、自分も成長していきたいと語る井口さん。

まだまだやりたいことがたくさんあるとのこと。自身の描く展望に向かって走り続けています！



災害ボランティアセンター運営研修を実施しました



令和5年3月7日、土佐市複合文化施設つな一において、災害ボランティアセンター運営基礎研修を実施しました。

当日は高知県社会福祉協議会より講師を迎え、高知リハビリテーション専門職大学の先生、学生さんたちにも参加をして頂きました。

研修は座学のほか、実際に災害が起きた際に設置される「災害ボランティアセンター」の運営方法について、ボランティア役とスタッフ役に分かれて受付やニーズ調整、活動報告といった演習を交えて学ぶことができました。災害ボランティアセンターの運営については日頃からの備え、関係性づくりが大切となってきます。土佐市社協では今後も研修を重ね、円滑な運営ができるよう取り組んでいきます。

第3期土佐市地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定！



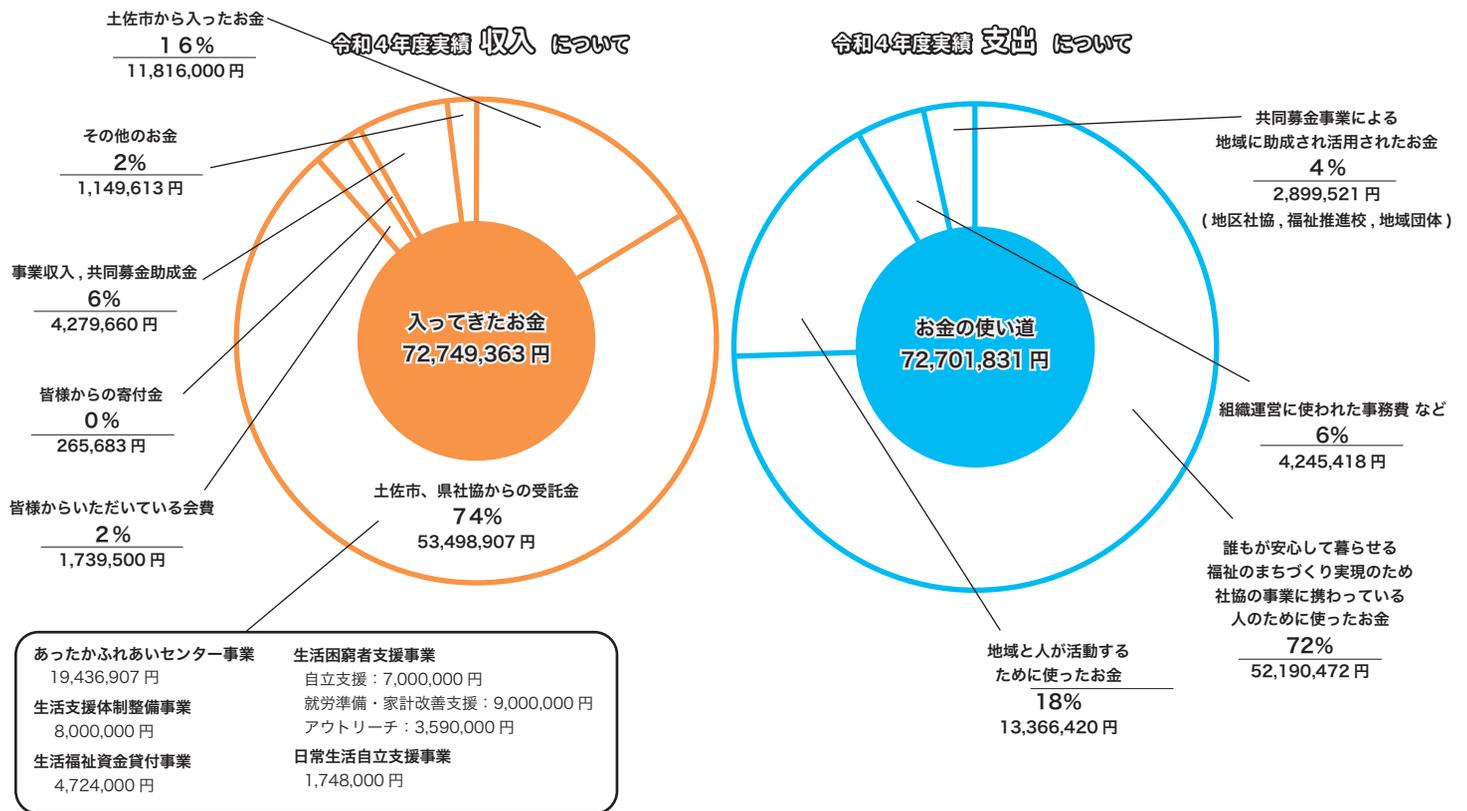
土佐市と土佐市社会福祉協議会は第3期土佐市地域福祉計画・地域福祉活動計画を一体的に作成しました。令和5年度から令和9年度までの5カ年計画となっています。この計画では、「地域で見守り支え合う ふれあいと福祉のまち 土佐」を基本理念として、誰もが暮らしやすい福祉の街づくりを目指して4つの目標が掲げられています。

計画の内容は土佐市福祉事務所と当協議会にて配布・閲覧が可能な他、双方のホームページにも詳細を掲載していますのでぜひご覧ください。

基本目標

- ①人と人とのつながりづくり
- ②福祉活動の推進と担い手づくり
- ③利用しやすい福祉サービスの仕組みづくり
- ④安心・安全で暮らしやすい福祉のまちづくり

土佐市社協 令和4年度実績について



日本赤十字社の活動にご協力をお願いします

赤十字の活動は、国内外で苦しんでいる人びとを救うため、国や県などからの公的資金によらず、皆様からのご寄付による支援で行われています。

高知県支部では「災害からいのちを守る赤十字」として、災害時の救護活動や被災者への救援物資の配布、近い将来発生が予想されている南海トラフ地震に備えた、高知赤十字病院・高知県赤十字血液センター及び関連団体と協力した訓練の実施、命を救う救急法等の普及、ボランティアの育成などの活動を続けています。

ぜひ、日本赤十字社の活動を寄付でご支援ください。



寄付はこのような活動に使われております。

- 災害救護活動や物資の備蓄に
- 青少年ボランティア活動に
- 救急法等各種講習の普及に
- 国際活動や海外救援事業に
- ボランティア活動の推進に
- 地域での赤十字活動に



土佐市での炊き出し訓練の様子

赤十字活動資金へのご協力をお願いします

赤十字活動資金へのご協力は、年間を通じて、日本赤十字社高知県支部及び土佐市社会福祉協議会で受付をおこなっています。お気軽にお問い合わせください。



高知県支部
高知市丸ノ内1丁目7番45号
総合あんしんセンター1階
TEL：088-872-6295

土佐市地区
土佐市高岡町乙3451-1
土佐市複合文化施設つな一で3階（土佐市社協内）
TEL：088-852-2145

寄付 温かいご支援ありがとうございます！

■ 土佐市社協への寄付 (令和5年5月までの分)

近澤 孝雄 様	10,000円
下元 葉月 様	ベビーフード
匿名 様	レトルトカレー
地域の方より	菓子

■ 子ども食堂への寄付 (令和5年5月までの分)

土佐ライオンズクラブ 様	50,000円
匿名 様	60,000円
森 健 様	玄米30kg
地域の方より	菓子・野菜



■ 令和4年度 年間実績(一般寄付・子ども食堂寄付)

計265,683円

地域の方よりたくさんの寄付を頂きました。
頂いた品は子ども食堂や必要としている方へお届けいたします。



土佐ライオンズクラブ様より土佐市の子ども食堂へ寄付を頂きました！



森 健 様より



匿名 様より



下元 葉月 様より

相談 6月以降の相談対応

■ 総合相談

日常生活に関するさまざまな不安やお悩み、課題、問題について相談されたい方はこちら。

事前にご連絡いただければ、待ち時間なく対応できます。

■ ふれあい相談

人権や相続、家族に関することで不安やお悩みを抱えている方はこちら。

事前にご連絡いただければ、待ち時間なく対応できます。

毎週月・水・金曜日 10:00~12:00 / 13:00~15:00

■ 無料法律相談 (弁護士相談)

奇数月の第3水曜日に弁護士に来ていただいております。

ふれあい相談での面談後の予約受付となります。

相談日：7月19日(水) / 9月20日(水) / 11月15日(水)

保険 ボランティア保険・活動保険

■ ボランティア活動保険

国内における活動中に偶発の事故により、怪我をした場合の「傷害保険」、第三者の身体・財産に損害を与えたことによる法律上の「賠償責任保険」がセットされた保険です。

基本プラン：350円/年

災害ボランティア活動：500円/年

特定感染症重点プラン：550円/年

■ ボランティア行事保険

国内において、福祉活動やボランティア活動などを目的として、非営利の団体が主催する行事参加中に行事参加者が偶発的な事故で怪我した場合の「傷害保険」、主催者側の過失により、損害賠償責任を負った場合の「賠償責任保険」がセットされた保険です。

保険料は行事の内容により異なります。

【編集・発行】 社会福祉法人 土佐市社会福祉協議会

本所 (総務課 / 相談支援課 / 地域福祉課)

開所時間 「月～金曜日 8:30 - 17:15」 休日 「土日・祝日 / 年末年始」

〒781-1102 土佐市高岡町乙 3451-1 土佐市複合文化施設つな一で 3F

TEL.(088) 852 - 2145 FAX.(088) 852 - 3194

あったかふれあいセンター高岡

開所時間 「月～金曜日 9:00 - 16:00」 休日 「土日・祝日 / 年末年始」

〒781-1101 土佐市高岡町甲 1771 (旧 土佐市老人憩いの家)

TEL / FAX.(088) 881 - 5472 携帯 .090 - 7783 - 7814



ホームページも
見てね！



社協会員募集中！